

平成 28 年度 意見交換会事例集

平成 29 年 3 月

やまぐち食の安心・安全推進協議会

目 次

趣旨 1
意見交換会の種類 1
意見交換会の開催の流れ 2
平成 28 年度の意見交換会（まとめ） 5
平成 28 年度の意見交換会（個別事例） 6

趣 旨

「やまぐち食の安心・安全推進協議会」は、「山口県食の安心・安全推進条例」に基づき、県、市町、食品関連事業者及び県民が連携して、食の安心・安全に向けた取組を展開していくことを目的に平成21年9月に設置されました。

平成24年度から、食品のリスクを考える意見交換会を開催しており、今後の意見交換会の参考としていただくため、平成28年度の意見交換会の開催状況（全●回）を取りまとめた事例集を作成しました。

意見交換会の種類

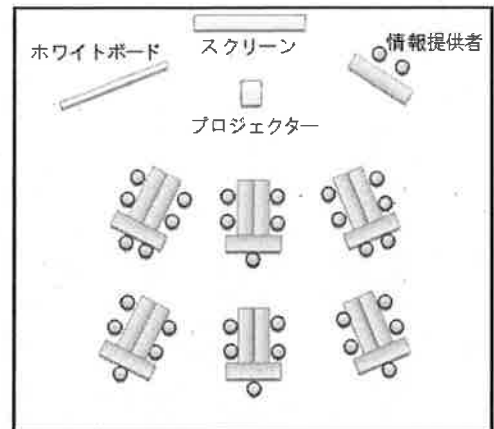
1 ワークショップ

参加者は情報提供を受けた後、グループ内で意見交換・討議を行い、その後、グループ発表、全体での意見交換を行い、知識・理解を深める。

（各グループに討議の進行役（ファシリテーター）を配置）

プログラム例（所要時間：3時間30分）

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション・アイスブレイク※
0:15	情報提供（50分程度）
1:05	グループワーク（60分程度） （グループ内で意見交換・討議し、グループの考えや質問を模造紙にまとめる。）
2:05	休憩
2:15	グループ発表（20分程度）
2:35	全体での意見交換（50分程度） （グループ発表の内容及び質問について、情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。）
3:25	アンケート記入・閉会



<会場配置例>

※アイスブレイク

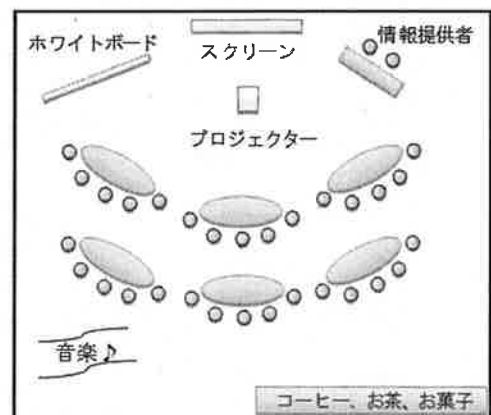
水を溶かすように、参加者の緊張感を和らげて、話しやすい雰囲気を作るためなどに行うもので、ゲーム形式など様々な手法がある。

2 サイエンスカフェ

カフェのような気軽な雰囲気の中で、専門家などからなるべく専門用語を使わないで情報提供を行い、参加者は茶菓を喫食し、質問や意見を自由に出して、知識や視野を広げる。

プログラム例（所要時間：2時間）

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション
0:10	情報提供（45分程度）
0:55	質問カード記入・休憩
1:10	意見交換（45分程度） （最初に質問カードの内容について情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。）
1:55	アンケート記入・閉会



<会場配置例>

意見交換会の開催の流れ

◆事前準備

- 開催希望団体は、意見交換会開催希望連絡票（別紙1）を生活衛生課に提出する。
 - 開催希望日の2か月程度前までに提出する。
 - 開催時間は、基本的には、サイエンスカフェは2時間、ワークショップは3時間30分程度とする。
 - 参加人数は20～40人程度とする。
 - 未定の項目は空欄で提出し、必要に応じて生活衛生課に相談する。
- 生活衛生課は、開催希望団体と日程等を調整し、内容を決定する。
(参加人数が少ない場合は、参加者の公募を検討する。)
- 開催の3日前までの参加人数がほぼ決定した時点で、開催希望団体は参加人数を生活衛生課に連絡する。
 - ワークショップの場合は、参加者からファシリテーターを選定し、グループワーク班編制表（別紙2）により班編成を行う。

◆開催当日

- 開始1時間～30分前から会場設営を開始する。
(参加者が多い場合や会場が広い場合などには、マイクを使用することが望ましい。)
- 開始30分前から参加者の受付を開始する。
 - ワークショップの場合、ファシリテーターの打ち合わせを実施する。
 - サイエンスカフェの場合、開始までに参加者に飲み物等の提供を行う。

◆準備品について

開催当日に以下の物を準備する。

準備品	数	準備する者
パソコン	1	生活衛生課
プロジェクター	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
スクリーン	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
延長コード	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
マイク	2	開催希望団体（開催場所にあれば使用）
ホワイトボード	1	開催希望団体（開催場所にあれば使用）
配布資料	参加人数分	生活衛生課
ワークショップの場合 模造紙 カラーマジック 大判ポストイット セロテープ サインペン	グループ数+ α グループ数+ α グループ数+ α グループ数+ α 参加人数分	生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体
サイエンスカフェの場合 茶菓 質問用紙 サインペン セロテープ	参加人数分 参加人数分×3枚程度 参加人数分 1	開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体

【提出先】 山口県環境生活部生活衛生課 行

別紙 1

(FAX : 083-933-3079、E-mail : a15300@pref.yamaguchi.lg.jp

TEL : 083-933-2974)

意見交換会開催希望連絡票

団体・機関名	
担当者	
電話、FAX 番号	
メールアドレス	

○意見交換会の開催希望について

開催日時	第1希望 平成 年 月 日 (: ~ :) 第2希望 平成 年 月 日 (: ~ :) 第3希望 平成 年 月 日 (: ~ :)
場所	○開催希望施設を記載ください。施設が未定の場合は、市町単位で記載ください。 ()
テーマ	○いずれかを選択ください。 有害微生物による食中毒の予防 (ノロウイルス、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌、その他 ()) 食品表示、食品添加物、食品中の放射性物質、残留農薬、輸入食品、 遺伝子組換え食品、BSE (牛海綿状脳症)、最近の食に関する話題、 一問一答 (事前質問に回答)、事業者の自主的な取組 (事業者との意見交換)、 その他 ()
形式	○いずれかを選択ください。 ワークショップ、サイエンスカフェ、工場見学、その他 ()
参加人数	○貴団体・機関からの参加人数を記載ください。 (人) ○参加者の公募について、記載してください。 公募する (人程度)、公募しない
情報提供者	○希望があれば記載ください。 ()
その他 (要望等)	

グループワーク班編制表

グループ	ファシリテーター	グループメンバー
A		
B		
C		
D		
E		
F		

・各グループの人数は、5～6人程度が望ましい。

平成 28 年度の意見交換会（まとめ）

<平成 28 年度の開催結果>

意見交換会の開催回数	19回
参加人数	583人

<意見交換会一覧>

No.	形式	開催日	場所	共催団体	テーマ	参加人数
1	サイエンス カフェ	6月8日	下関市	山口県地域消費者団体連絡協議会	食品表示	26
2		8月5日	下関市	山口県地域消費者団体連絡協議会	生産者の取組	23
3		8月24日	山口市	山口県消費者団体連絡協議会 山口県生活協同組合連合会	輸入食品	40
4		10月7日	下関市	山口県地域消費者団体連絡協議会	食品表示	11
5		10月28日	宇部市	山口県地域消費者団体連絡協議会	輸入食品	28
6		11月15日	山口市	山口県連合婦人会	食品添加物	22
7		11月29日	宇部市	生活協同組合コープやまぐち 山口県生活協同組合連合会	食中毒予防	20
8	セミナー	6月21日	山口市	山口県保育協会	食中毒予防	20
9		7月2日	宇部市	健康食品管理士会中国支部	食品表示	100
10		9月7日	山口市	桜の森アカデミー	食中毒予防 食品表示	23
11		10月1日	岩国市	いわくに市民活動支援センター	食品表示	30
12		10月26日	山口市	山口県食肉公正取引協議会	食品表示	30
13		11月11日	下関市	山口県食肉公正取引協議会	食品表示	30
14		1月20日	防府市	山口県農業大学校	食品表示	70
15	工場見学 等	7月7日	山口市	山口県地域消費者団体連絡協議会	食品検査 食品ロス	19
16		10月14日	周南市	食の安心モニター コミュニティー活動リーダー	HACCP	30
17		10月21日	山口市	食の安心モニター コミュニティー活動リーダー	食品検査	10
18		11月21日	山口市	食の安心モニター コミュニティー活動リーダー	食品衛生 食品表示	31
19		12月2日	下関市	山口県地域消費者団体連絡協議会	食品衛生 地産地消	20

意見交換会事例

No. 28-1

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 28 年 6 月 8 日 (水) 10:30~12:00		
場所	下関市長府庭園 書院 (下関市長府黒門東町 8-11)		
共催団体	下関市消費者の会		
テーマ	食品表示		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課		
参加人数	26 人	参加者公募	無し
プログラム	10:30 開会・オリエンテーション 10:40 情報提供 「食品表示について」(40分) 11:20 質問カードの記入(10分) 11:30 意見交換(20分) 11:50 アンケート記入・閉会		
準備	下関市消費者の会 ・茶菓の準備 ・会場確保 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備(プロジェクター、スクリーン、パソコン等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なお話しなのでよく分かりました。 ・自分でよく見て選ばなければと考えさせられました。 ・講師の方の話し方が分かりやすかった。 ・情報提供の後に質問時間が十分にあったのがよかった。 ・これまで表示に関心だったが、これからはよく見ようと思った。 ・マイクの使用でもっと声が通るのではないか。 		

意見交換会事例

No. 28-2

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 28 年 8 月 5 日 (金) 13:30~15:30		
場所	下関市豊田総合支所 (下関市豊田町大字殿敷)		
共催団体	豊田くらしの会		
テーマ	生産者の取組		
情報提供者	豊田ふるさと市出荷者協議会 会長 柴田俊彦		
参加人数	23 人	参加者公募	無し
プログラム	13:30 開会・オリエンテーション 13:40 情報提供 「野菜づくりは生涯学習 豊田ふるさと市の取組について」 (40分) 14:20 質問カードの記入・休憩 (15分) 14:35 意見交換 (40分) 15:20 アンケート記入・閉会		
準備	豊田くらしの会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備 (マイク) 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備 (プロジェクター、パソコン 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者と購入者の会合は全く行われていなかったもので、とても良い企画だとも思う。 ・意見交換することで、今後の出荷活動に役立てられると思います。 ・野菜の原価とか他にいくらかかるとかわかりました。これからも農家の方がおいしく安全な野菜を作ってください。 ・立場の違う人が集まると互いに気づくことが多く良い機会になると感じました。 ・出荷者さんの安全への取組や課題がよくわかりました。 ・生の声が多く聞けて良かった。皆さんの意見要望を反映したい。 		

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 28 年 8 月 24 日 (水) 10:00~12:00		
場所	コープやまぐちコミュニティセンター (山口市小郡下郷)		
共催団体	山口県消費者団体連絡協議会、山口県生活協同組合連合会		
テーマ	輸入食品		
情報提供者	厚生労働省 福岡検疫所 食品監視課		
参加人数	40 人	参加者公募	無し
プログラム	10:00 開会・オリエンテーション 10:10 情報提供 「輸入食品の安全性の確保について」(60分) 11:10 グループワーク・質問カードの記入(20分) 11:30 意見交換(30分) 12:00 アンケート記入・閉会		
準備	山口県消費者団体連絡協議会、山口県生活協同組合連合会 ・参加者の募集、事前質問の受付 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備(マイク) 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備(プロジェクター、パソコン等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入食品についての現状がよく分かった ・リスクをゼロに近づけるための努力をされていることがわかり、少し安心した ・グループワークで皆さんとテーマについて話ができ勉強になった。 ・輸入食品に対する検査・検疫体制がどうなっているか気になっていたが、よく分かった。しかし人数(検査体制)があまりにも少ないのに少し不安を覚える。 ・食料自給率を上げて欲しい 		

意見交換会事例

No. 28-4

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 28 年 10 月 7 日 (金) 13:30~15:10		
場所	下関市豊田総合支所 (下関市豊田町大字殿敷)		
共催団体	豊田くらしの会		
テーマ	食品表示		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課		
参加人数	11 人	参加者公募	無し
プログラム	13:30 開会・オリエンテーション 13:35 情報提供 「食品表示について」(40分) 14:20 グループワーク・質問カードの記入 (30分) 14:50 意見交換 (30分) 15:20 アンケート記入・閉会		
準備	豊田くらしの会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備 (パソコン、プロジェクター 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・新しい表示について、いろいろと勉強になりました。 ・日常は表示を意識していない部分がありましたが、今日の説明はとてわかりやすく、理解できました。 ・質問もしやすい空気で良かったです。 ・食品表示などが消費期限と賞味期限の違いがわかった。		

意見交換会事例

No. 28-5

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 28 年 10 月 28 日 (金) 11:00~12:30		
場所	宇部市リサイクルプラザ (宇部市大字沖宇部字沖ノ山 5272 番地 5)		
共催団体	宇部市消費者の会		
テーマ	輸入食品		
情報提供者	厚生労働省 福岡検疫所 食品監視課		
参加人数	28 人	参加者公募	無し
プログラム	11:00 開会・オリエンテーション 11:10 情報提供 「輸入食品の安全性の確保について」(60分) 12:10 質問カードの記入(10分) 12:20 意見交換(10分) 12:30 アンケート記入・閉会		
準備	宇部市消費者の会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備(スクリーン、プロジェクター、マイク) 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備(パソコン 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・お互いの意見が深められてよかった ・検疫所、食品監視の仕事内容と流れを理解できました ・輸出入は厳しい目でされていることがわかった ・参加者の皆さんの意見が聞けて良かった ・時間が短すぎて残念でした ・質疑応答の時間をたくさん作って欲しい		

意見交換会事例

No. 28-6

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 28 年 11 月 15 日 (火) 13:00~14:30		
場所	カリエンテ山口 (山口市湯田温泉 5 丁目 1-1)		
共催団体	山口県連合婦人会		
テーマ	食品添加物		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課		
参加人数	22 人	参加者公募	無し
プログラム	13:00 開会・オリエンテーション 13:05 情報提供 (40 分) 「食品添加物について知ろう！」 13:45 グループワーク・質問カードの記入 (30 分) 14:15 意見交換 (10 分) 14:25 アンケート記入・閉会		
準備	山口県連合婦人会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備 (プロジェクター、スクリーン、マイク) 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備 (パソコン 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分以外の人の疑問も知ることにもなり良かった ・疑問にも回答してもらえる ・それぞれの立場 (生産者、消費者、年齢層) からのお話しが聞けて良かった ・残留農薬について考えると、売り物になるものを作るためには最低限度使わざるを得ないということがわかった ・ADIをもっと詳しく知りたい ・話を聞いてから自分たちで考えることがよかった ・黙って聞くだけでなく、自然にしゃべることができた 		

意見交換会事例

No. 28-7

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 28 年 11 月 29 日 (水) 10:00~12:00		
場所	ここと宇部店 組合員集会室 あい愛館 (宇部市恩田町 2-2-1)		
共催団体	コープやまぐち、山口県生活協同組合連合会		
テーマ	食中毒予防		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課		
参加人数	20 人	参加者公募	無し
プログラム	10:00 開会・オリエンテーション 10:10 情報提供 「食中毒の予防について」(50分) 11:00 質問カードの記入(20分) 11:20 意見交換(30分) 11:50 アンケート記入・閉会		
準備	コープやまぐち、山口県生活協同組合連合会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備(マイク) 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備(プロジェクター、スクリーン、パソコン等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・ノロは身近な問題なのに、意外にのんきにかまえていました。今日はとてもわかりやすく話しして下さったので、これからの生活に活かしていきます。 ・今までの手洗い等「つついまねだけ」になっていた。気を引き締めて、出来るところからキチンとしていきたい。 ・わかりやすいお話しでした。特にトイレでどれだけ汚れが飛び散っているのか見ることができ、家に持ち帰って家族にも見せます。 ・分かりやすく詳しい資料に沿っての説明でとても勉強になりました。質問カードの回答時間も十分にあって、良かったです。 ・手を挙げて発言するには抵抗があるので、書いて答えていただくと、少し楽になります。 ・説明が丁寧でとても分かりやすかったです。いろんな菌の事や食中毒が起こったときの症状などが聞けて参考になりました。 		

形式	セミナー形式		
開催日時	平成 28 年 6 月 21 日 (火) 10:00~11:30		
場所	防長苑 (山口市熊野町 4 - 2 9)		
共催団体	山口県保育協会		
テーマ	食中毒予防について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課		
参加人数	20 人	参加者公募	有り
プログラム	10:00 開会・オリエンテーション 10:10 情報提供 「食中毒予防について」(30分) 10:40 質問カードの記入(10分) 10:50 意見交換(30分) 11:20 アンケート記入・閉会		
準備	山口県保育協会 ・参加者の募集 ・会場確保 ・備品準備(プロジェクター、スクリーン、マイク) 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備(パソコン 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・疑問に思うことを直接聞くことができるので分かりやすかった。 ・ウイルス対策があいまいになっていたの、園全体で話し合い、理解してもらえよう対応していきたい。 ・質問の回答が分かりやすかった。 ・最新の情報を得ることができて良かった。		

意見交換会事例

No. 28-9

形式	セミナー形式		
開催日時	平成 28 年 7 月 2 日 (土) 13:00~15:30		
場所	山口大学医学部霜仁会 (宇部市南小串 1-1-1)		
共催団体	健康食品管理士会中国支部		
テーマ	食品表示		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課		
情報提供	「知って得する食品表示 ～健康作りに役立つ栄養成分表示や栄養強調表示～」		
参加人数	100 人	参加者公募	あり

No. 28-10

形式	セミナー形式		
開催日時	平成 28 年 9 月 7 日 (水) 9:30~12:30		
場所	桜の森アカデミー (県政資料館)		
共催団体	山口県立大学 桜の森アカデミー		
テーマ	食中毒予防、食品表示		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課		
参加人数	23 人	参加者公募	無し
プログラム	9:30 開会 9:35 情報提供「食中毒予防について」(40分) 10:15 質問カードの記入(10分) 10:25 情報提供「食品表示について」(40分) 11:05 質問カードの記入(15分) 11:20 意見交換(60分) 12:20 閉会		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒について原因など知らないこともあったので気をつけたいと思いました。 ・質問に1つ1つ答えていただける時間はとても有意義でした ・食品表示についても漠然とした認識だったので改めて知る機会になりました。 ・みんながどんな疑問を持っているかを知ることができた 		

意見交換会事例

No. 28-11

形式	セミナー形式		
開催日時	平成 28 年 10 月 1 日 (土) 14:50~15:20		
場所	岩国市中央公民館 (岩国市岩国 4 丁目 4-15)		
共催団体	いわくに市民活動支援センター		
テーマ	食品表示について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課		
参加人数	30 人	参加者公募	無し

No. 28-12、No. 28-13

形式	セミナー形式		
開催日時	①平成 28 年 10 月 26 日 (水) 13:00~15:00 ②平成 28 年 11 月 11 日 (金) 13:00~15:00		
場所	①山口南総合センター (山口市名田島 1218-1) ②海峡メッセ下関 (下関市豊前田町 3 丁目 3-1)		
共催団体	山口県食肉公正取引協議会		
テーマ	食品表示		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課		
参加人数	60 人	参加者公募	無し
プログラム	13:00 開会 13:10 情報提供「食品表示について」(55分) 14:05 質問カードの記入(20分) 14:25 意見交換(30分) 14:55 閉会		

No. 28-14

形式	セミナー形式		
開催日時	平成 29 年 1 月 20 日 (金) 10:10~11:00		
場所	山口県立農業大学校 (防府市)		
共催団体	山口県農林総合技術センター農業担い手支援部山口県立農業大学校		
テーマ	食品表示		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課		
参加人数	70 人	参加者公募	無し

形式	工場見学		
開催日時	平成 28 年 7 月 7 日 (木) 10:00~15:30		
場所	<p>一般社団法人やまぐち食の安心・安全研究センター (山口市小郡上郷字流通センター西901-21)</p> <p>事業概要 JAグループ山口と山口県の生協グループが平成 17 年に設立した、食品の安全性を検査する機関です。生産者団体と消費者団体が共同で設立し、農産物をはじめとして食品の理化学検査や微生物検査を行い、山口県の食の安心・安全を推進しています。</p> <p>株式会社アースクリエイティブ (宇部市大字山中700番17) 業種: 食品リサイクル業</p> <p>事業概要 ・食品廃棄物の飼料化 ・一般・産業廃棄物収集運搬業 (主なブランド: きららエコフィード)</p>		
共催団体	下関市消費者の会		
テーマ	食品の安全性 (食品検査)、食品ロス		
参加人数	19 人	参加者公募	無し
スケジュール	10:10~12:10 やまぐち食の安心・安全研究センター見学 14:15~15:30 アースクリエイティブ リサイクルセンター見学		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・机上の空論ではなく、見学で実のある経験だと思う。 ・消費者の食の安全のために、このような専門の施設があり、その働きによって守られていると思った。 ・丁寧に説明してくださり、勉強になりました。 ・もっとたくさんの人に、ここのセンターのことを知ってもらいたい。 		

形式	工場見学		
開催日時	平成 28 年月日 (木) 13:00~15:00		
場所	株式会社シマヤ 本 社：山口県周南市都町 1-57 〔事業概要〕 風味調味料、めんつゆ、贈答品、天然だしパック、ぼん酢、 中華だし、液体調味料、たれ類、味噌、醤油等各種調味料の 製造・販売 見学施設：(株)シマヤ新田工場 場 所：周南市新田 2 丁目 9-1		
共催団体	食の安心モニター、食の安心コミュニティ活動リーダー		
テーマ	H A C C P		
参加人数	30 人	参加者公募	無し
プログラム	13:00 開会・オリエンテーション 13:05 工場内見学 (60 分) 14:05 情報提供「H A C C P の取組について」(30 分) 14:35 意見交換 (20 分) 15:55 アンケート記入・閉会		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段はなかなか工場見学する機会がないので勉強になりました ・ 自動機械が導入され、清潔に製造されていることがよくわかった ・ 安全管理、衛生管理の状況を目視できてよかったです ・ 地元の商品を知って更に好きになり、地産地消の取り組むことができそうです ・ 今後はうしろめたさを感じないで、調味料サッサ！で使ってよいものと思いました ・ シマヤさんの工場見学をさせて頂いたことに感謝。山口県の会社ですのでこれからも使わせていただきたいと思います。本日はありがとうございました ・ とても丁寧で判りやすく良かったです。でも質問が多かったのでなかなか手が挙げられませんでした。 ・ 見学時間が少し足りなかったと思う 		

形式	工場見学		
開催日時	平成 28 年 10 月 21 日 (金) 9:00~11:30		
場所	<p>一般社団法人やまぐち食の安心・安全研究センター 場 所：山口市小郡上郷字流通センター西 9 0 1 - 2 1 事業概要：J A グループ山口と山口県の生協グループが平成 17 年に 設立した、食品の安全性を検査する機関です。生産者団 体と消費者団体が共同で設立し、農産物をはじめとして 食品の理化学検査や微生物検査を行い、山口県の食の安 心・安全を推進しています。</p>		
共催団体	食の安心モニター、食の安心コミュニティ活動リーダー		
テーマ	食品検査 等		
参加人数	10 人	参加者公募	無し
プログラム	<p>9:00 開会・オリエンテーション 9:05 情報提供① 「食品の安全性」(ビデオ) (20 分) 情報提供② 「研究センター事業概要説明」(40 分) 10:00 食品検査施設見学 11:00 意見交換 (30 分) 11:30 アンケート記入・閉会</p>		
参加者の感想 (アンケート結果よ り)	<ul style="list-style-type: none"> ・政策、制度、実態などの話を聞いて良かった ・J A とコープのみ検査していることがわかった ・食品の安心・安全は常に関心があり、勉強になりました ・事業者、生産者の意見が取り入れられることは望ましいことです ・リスクコミュニケーションが行われているということは、とても 良いことだと思いました ・知らないところで、努力されているということがわかった ・日頃、不安に思っていたことが軽減されたように思う 		

形式	工場見学		
開催日時	平成 28 年 11 月 21 日 (月) 13:00~15:30		
場所	株式会社丸久 本 社：防府市大字江泊 1936 番地 店舗地域：山口県、広島県、島根県、福岡県 事業概要：食料品、住居関連品、衣料品等の小売業 見学施設：アルク 葵店 場 所：山口市葵一丁目 4 番 70 号		
共催団体	食の安心モニター、食の安心コミュニティ活動リーダー		
テーマ	食品衛生、食品表示 等		
参加人数	31 人	参加者公募	無し
プログラム	13:00 開会・オリエンテーション 13:05 情報提供 「株式会社丸久の取組について」 (20分) 13:25 質問カードの記入 (10分) 13:35 意見交換 (20分) 14:00 移動 → アルク葵店 14:30 食品販売店舗見学 (60分) 15:30 アンケート記入・閉会		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の取組姿勢がよくわかりました。 ・スーパーマーケットがこれほど大きいことに驚きました。明るく省エネにも配慮されていることに嬉しく思いました ・日頃、気に留めていなかった所も見られて良かったです ・事業者の取組がよくわかりました。国や県と協力し合い、食の安心・安全やエコが良い方向に進めばいいと思いました ・質問に対し、逐一丁寧に回答していただきありがとうございました ・衛生的な売場、作業場と感じました ・企業としての取組の中で、リサイクルへの取組など環境に対して取り組んでいることがよくわかりました ・丸久さんの取組の中で、移動販売の取組が拡大されることを願っています 		

形式	調理実習		
開催日時	平成 28 年 12 月 2 日（金） 10:00～12:30		
場所	下関市豊田総合支所（下関市豊田町大字殿敷）		
共催団体	豊田くらしの会		
テーマ	食品衛生、地産地消		
参加人数	20 人	参加者公募	無し
スケジュール	<p>10:00 開会・オリエンテーション</p> <p>10:10 情報提供 「正しい手洗いの仕方について」（10分） 講師：山口県環境生活部生活衛生課</p> <p>10:20 料理講習会 ～地元の産直野菜を使った料理～ 講師：食生活改善推進委員会豊田町支部</p> <p>12:30 アンケート記入・閉会</p>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> ・サイエンスカフェそのもので事業をしてまいりましたが、このようなやり方があるということは、とても参考になりました。団体に持ち帰り、広報したい。 ・話に具体性があり、実行につながりやすい。 ・実際に手洗いをして、チェックをすると、汚れが落ちていない部分がよく見えて、自分の洗い方を今後しっかりとした洗い方に変えないといけないことがよくわかった。 ・日頃出来ない料理が出来て、かつ皆と一緒に食事が出来て良かったです。いろいろな人がいて、成り立ったと思います。 		